



Policy  
Alternatives  
Research  
Institute

# 高齢者標準の社会

2009年8月4日

政策ビジョン研究センター

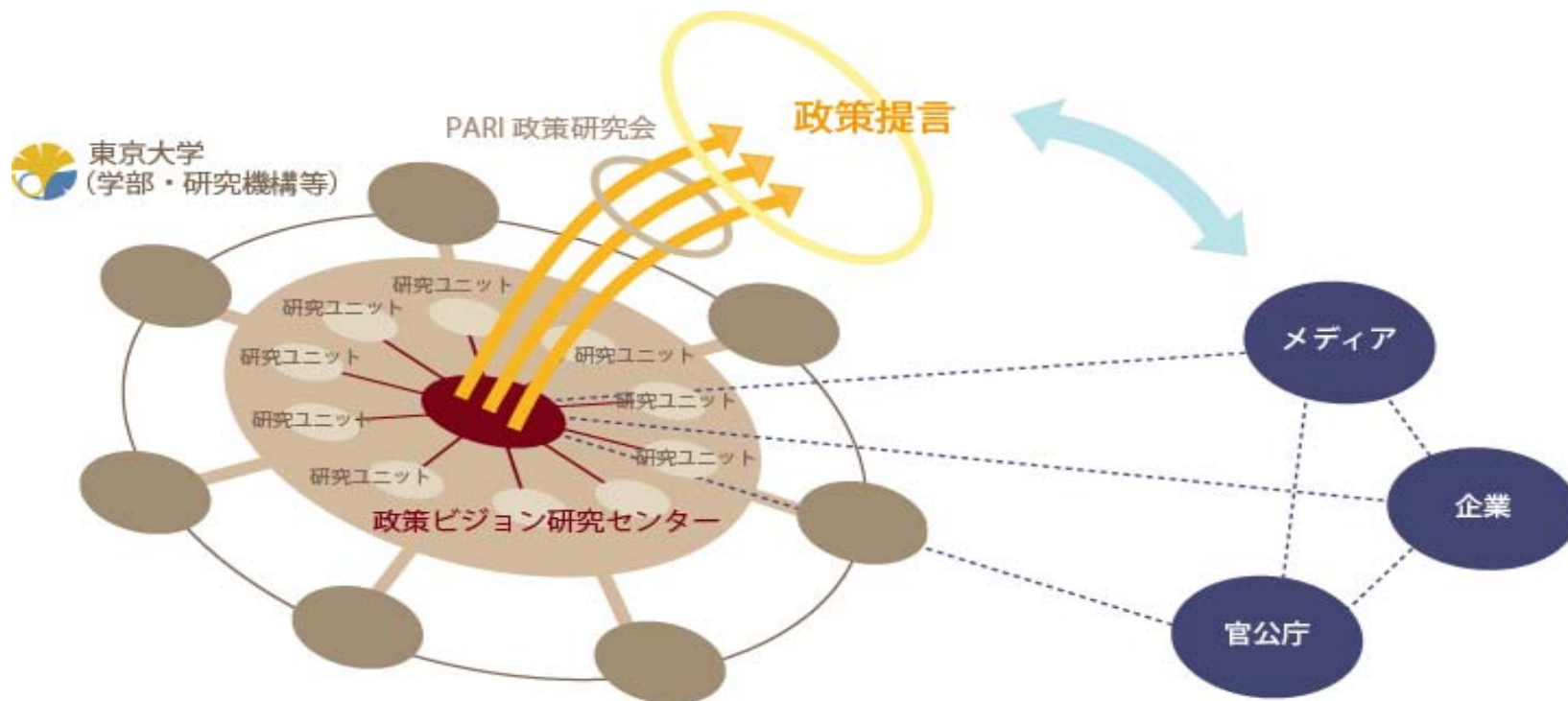
森田 朗

坂田 一郎

# 目次

1. 東京大学政策ビジョン研究センター
2. 高齢化社会の現実
3. めざすべき社会像
4. 高齢者標準の社会の実現に向けて
5. 向かうべき方向

# 1. 政策ビジョン研究センター

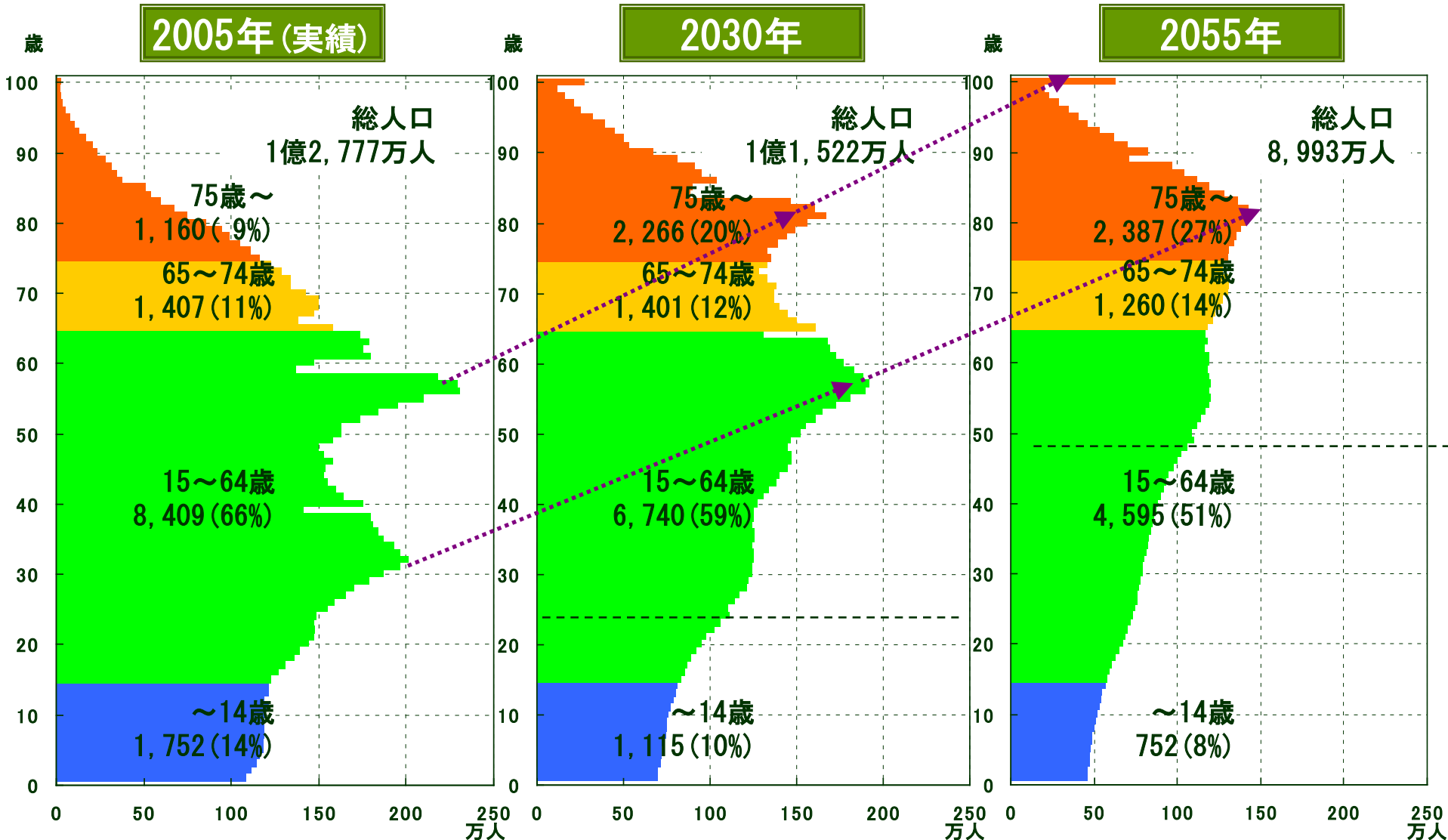


## 研究ユニット

1. 北東アジアの安全保障研究ユニット
2. 知的財産権とイノベーション研究ユニット
3. 技術ガバナンス研究ユニット
4. 医療におけるIT政策研究ユニット
5. 再生医療政策研究ユニット
6. 生命・医療倫理政策研究ユニット
7. 航空政策研究ユニット

その他、「ジェロントロジー」、「イノベーション・システム改革」、「海洋アライアンス」等の政策課題を検討中

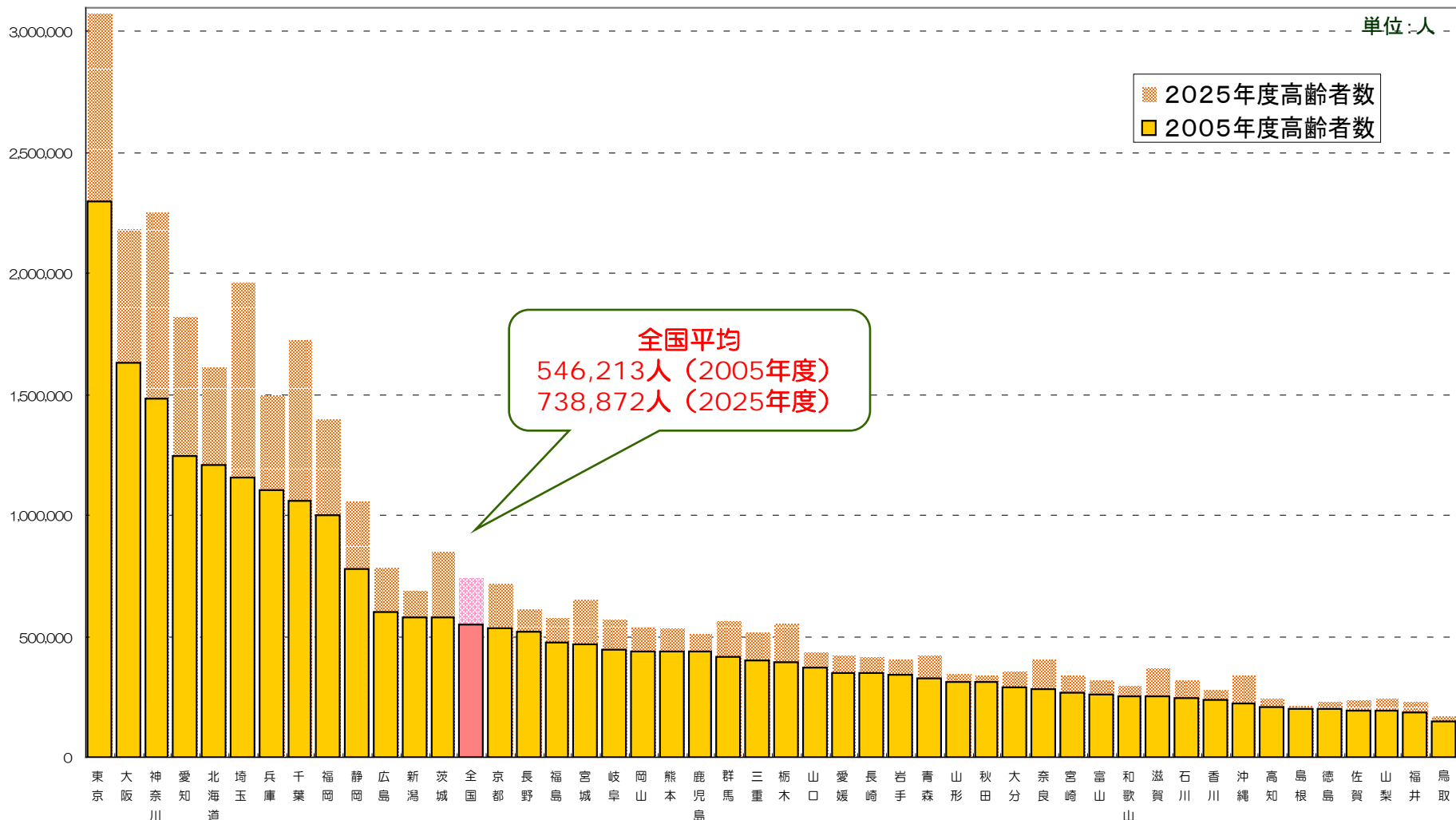
## 2. 高齢化社会の現実



注: 2005年は国勢調査結果。総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と一致しない。

# 急速に訪れる都市部の高齢化—都道府県別高齢者数

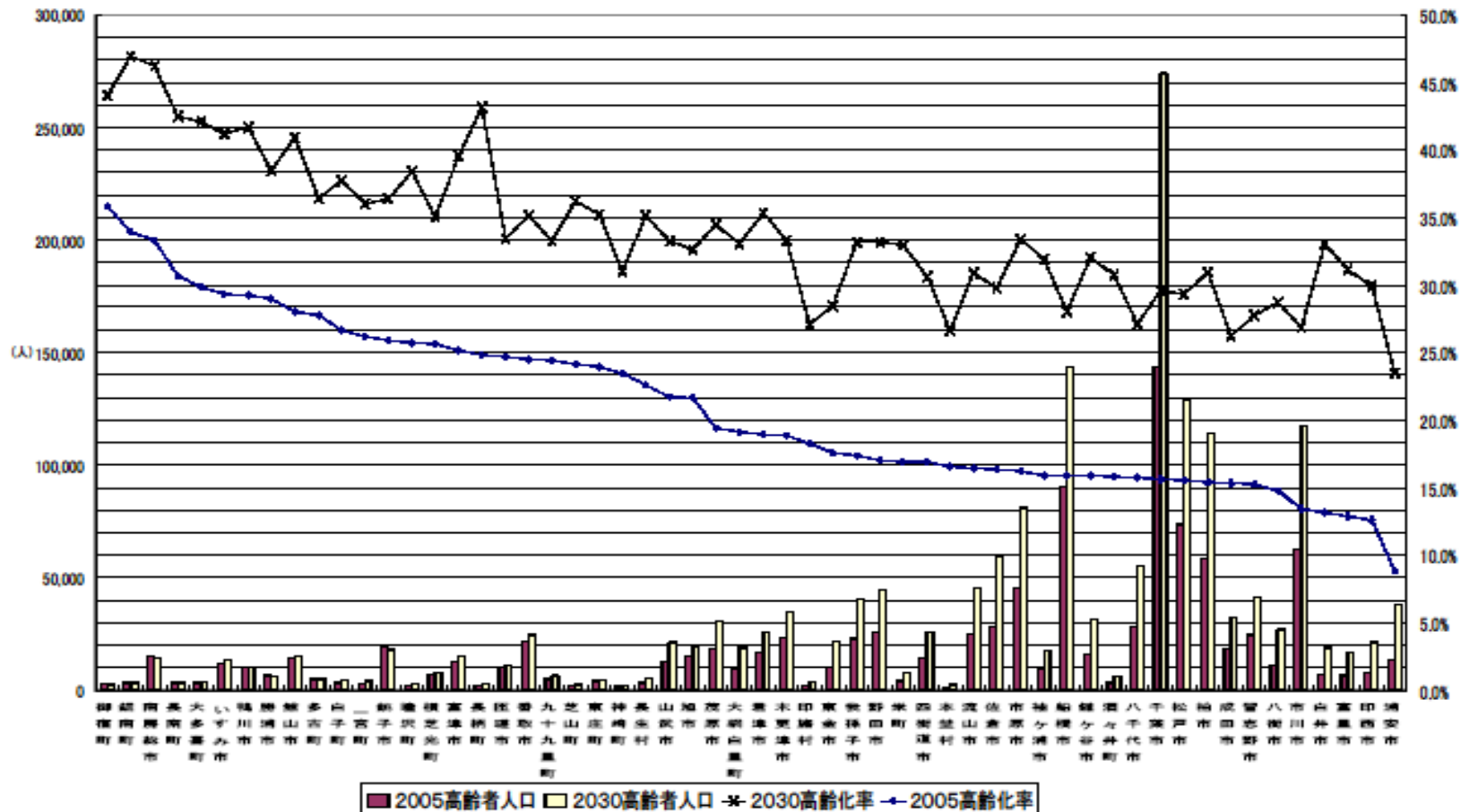
高齢者人口は、今後20年間、首都圏を始めとする都市部を中心に増加し、高齢者への介護サービス量の増加が見込まれるとともに、高齢者の「住まい」の問題等への対応が不可欠になる。



【資料】2005年の高齢者人口については、総務省統計局「平成17年国勢調査第1次基本集計（確定値）」  
 2025年の高齢者人口については、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成14年3月推計）」

# 急速に訪れる都市部の高齢化—千葉県の例

高齢化の現状と見通し（高齢者数と高齢化率）



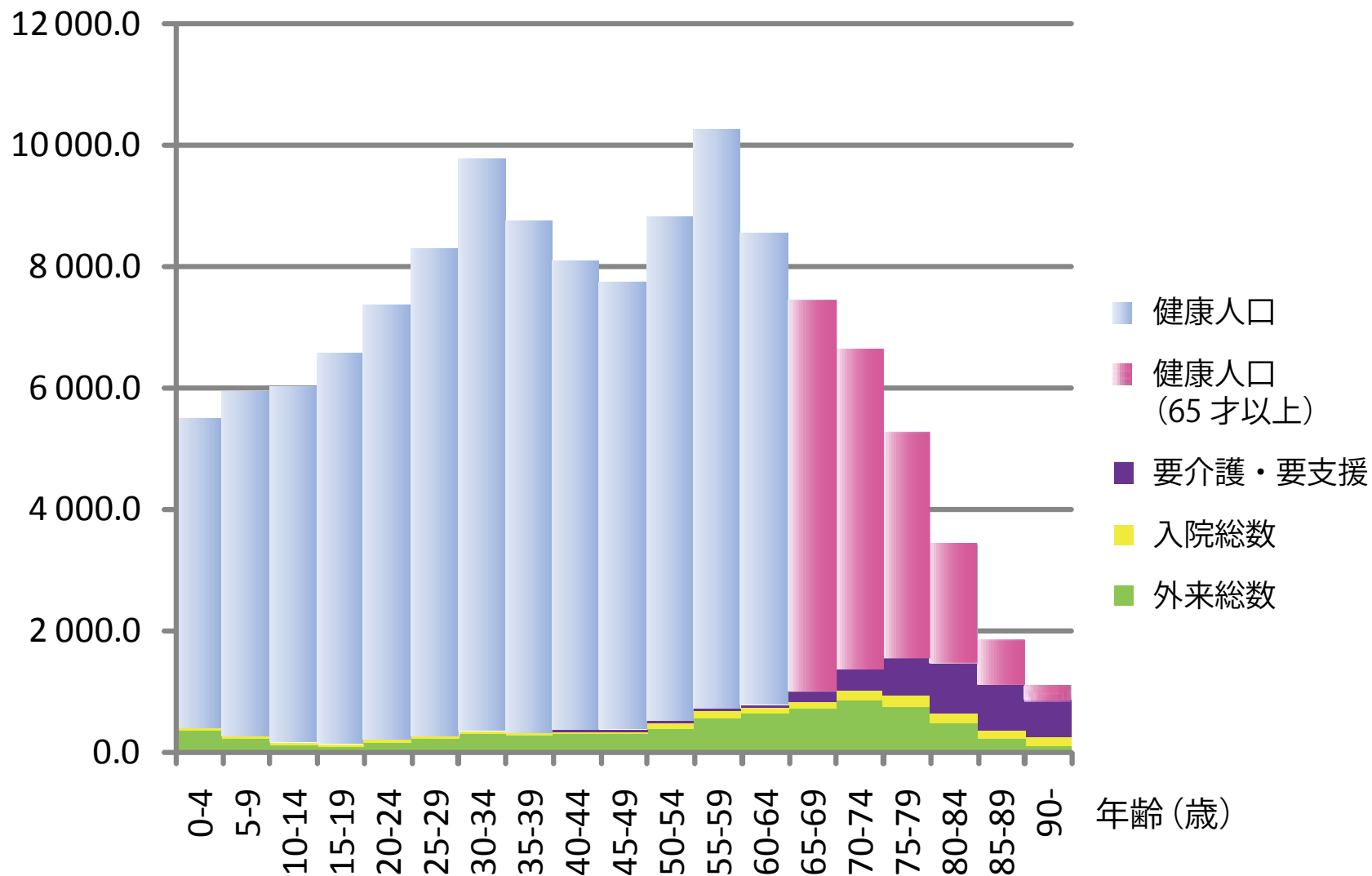
- 1 2005年は、平成17年4月1日現在
- 2 2030年は、日本の市区町村別将来人口推計（国立社会保障・人口問題研究所平成15年12月推計）による

### 3. めざすべき社会像

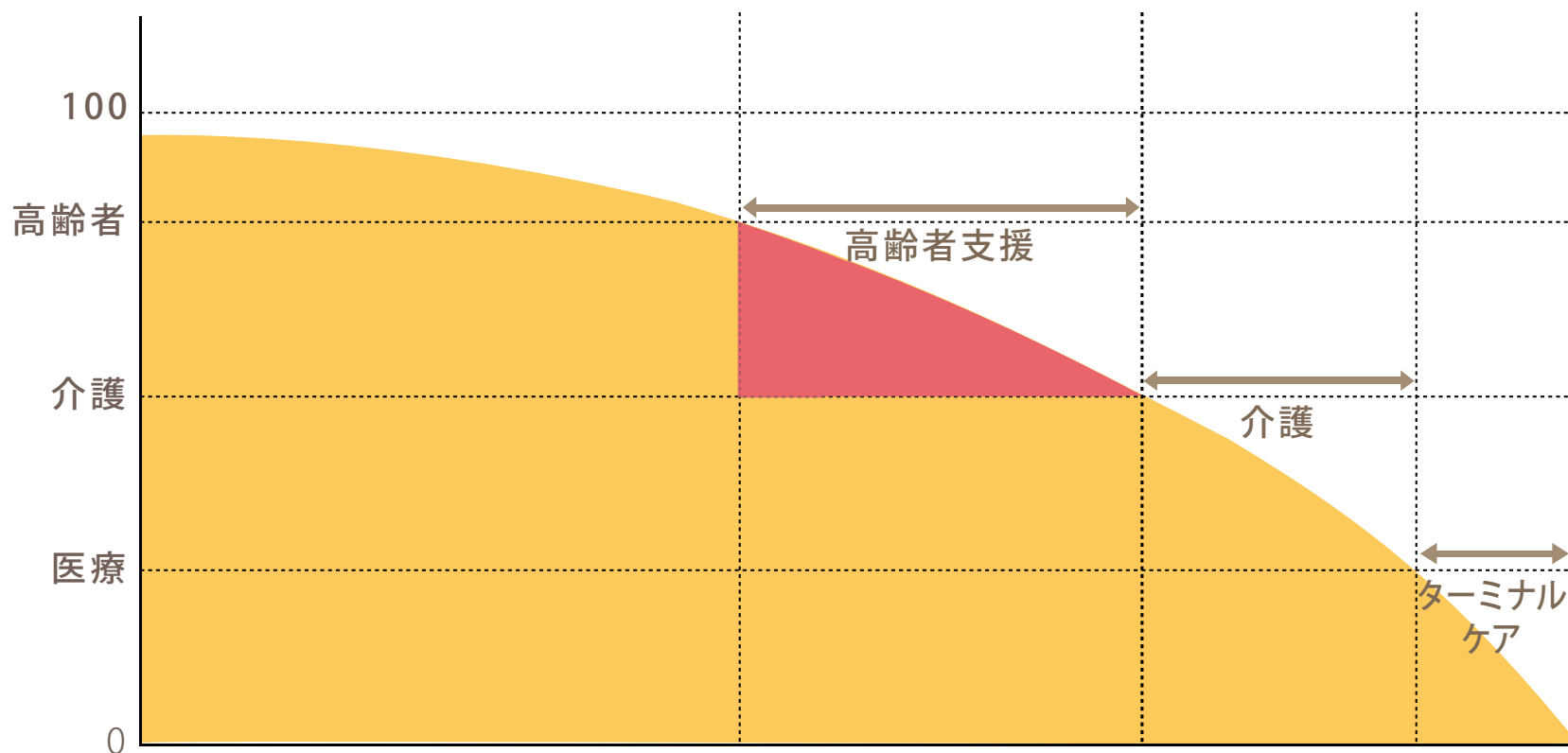
- **暗い高齢社会のイメージ**
  - 年金・医療・介護・・・
  - 重い負担と世代間の対立
  
- **高齢者の大半は元気！**
  - 健康の維持が重要——予防医療
  - 「余生」ではなく、人生の充実期と位置づけるべき
  
- **高齢者を標準とした社会の形成を！**
  - 心身の機能低下は避けられない
  - 高齢者を標準に社会のあり方を改める
    - エスカレーター、活字、横断歩道

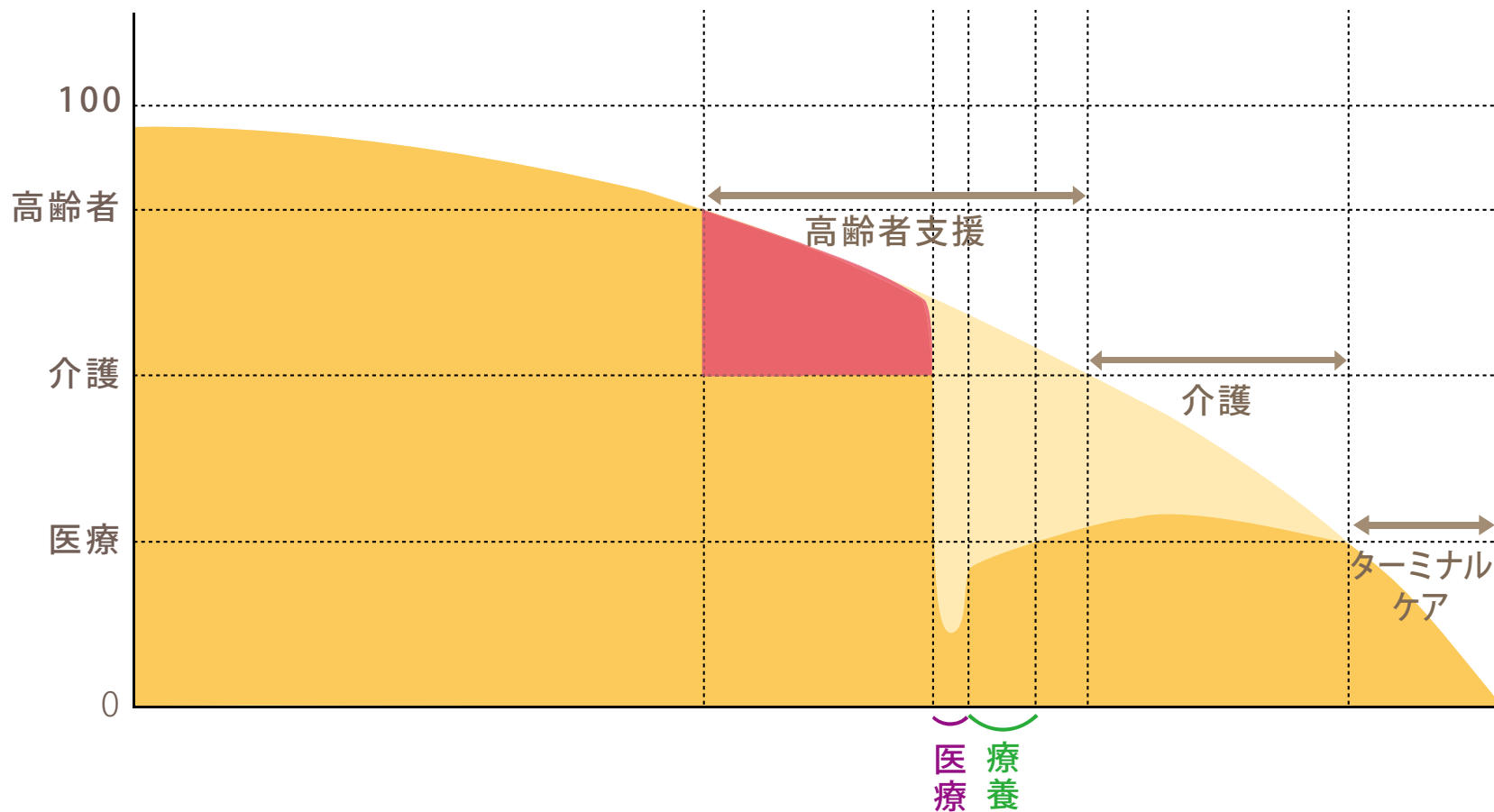
# 年齢階層別 医療・介護・健康人口

人数(千人)









## 4. 高齢者標準の社会の実現に向けて

### ■ 政策提言の視点

- ①総合性・体系性    ②普遍性・一般性    ③タイミング

### ■ 考察の単位

- ①心身 — 機能の維持
- ②生活 — 衣食住・家族・家計
- ③地域コミュニティ
- ④自治体
- ⑤国

## ■ 個人—心身

- 健康管理—医療     ★医療技術・制度
- 日常行動の支援—介護  
    ★低下する体力・機能を補う商品やサービス
- 意識—生き甲斐

## ■ 生活

- 生活管理—財産・家計—成年後見人制度・信託  
    ★「振り込め詐欺」と見守りの必要性
- 食生活
- 労働・余暇—働くことの意味・社会的貢献
- 家族—単身者問題
- 住居—改善(バリアフリー化)・施設—戸建て・集合住宅の管理  
    ★分譲マンションのスラム化の危険
- コミュニケーション—テレビ・電話・IT  
    ★映像工学やウェアラブルITの技術等を駆使した高齢者に適したインターフェース  
    を持った機器  
    ★テレプレゼンスのような新しいアメニティ(家庭に居ながら劇場や博物館にいる  
    ような臨場感を持って行う体験)

## ■ 地域社会

- まちづくり・施設——複数世代共存
  - ★新しいタイプの快適な集合住宅や街
- 地域医療・介護
  - ★医療情報のIT化、沿革診療システム
- 地域共同体——近隣のつきあい・移動と交通
  - ★高齢者のコミュニティ活動をアシストするサービス
  - ★運転や乗降がしやすい超小型自動車
- 都市と農村

## ■ 広域社会(自治体)

- 地域振興と地域経済——人口減少への対応
- 公共交通と自動車
  - ★需要応答型交通システム(DRT)
- 災害・犯罪・交通事故への対応
- 葬儀・墓地・宗教

## ■ 国レベル

- 年金・医療保険制度
- 財政・税制——格差と安全網
- 投票行動と政治意識
- シルバー・ビジネス
- 労働と勤務形態
- 文化と社会観
- アジア諸国の高齢化

## ■ 医療制度・技術

- ★ クリニカルデータの高度分析・活用を行うサービス（例えば、診断や投薬のアドバイスの提供、新しく判明した効果の高い治療法情報の提供）
- ★ 構造化されたクリニカルデータを用いた創薬、医療機器や治療法の開発
- ★ 医療専門補助者（フィジシャンアシスタント）による専門サービス
- ★ 再生医療に使う細胞の培養、管理、運搬等のサービス（医療エンジニアリング）

## 5. 向かうべき方向

- 日本の高齢化
  - 規模と速度において人類初めての経験
  
- 高齢者を標準とした新たな社会像の創出は急務
  - 社会的制度とビジネス・モデルの形成を！
  - 「シルバー・ニューディール」**
  
- 東アジアの諸国が追随
  - 韓国、台湾、シンガポール、そして中国

終

ご静聴ありがとうございました